

# みんな集まれ！玉ちゃん祭

9/13

初秋の雲が広がる中、玉島幼稚園で「みんな集まれ！玉ちゃんまつり」が開催されました。オープニングでは、園庭で園児が一生懸命に踊りを披露し、その可愛さにみんなが笑顔になりました。その後、皆で輪になって坂東弘季<sup>ばんとうひろき</sup>先生のご指導のもと良寛ぼやしを踊り、みんなの気持ちがひとつになりました。楽しいお祭りコーナーでは、3学年の縦割り<sup>たてわり</sup>で組んだ友達と一緒に「作って遊ぼうコーナー」や「ゲームコーナー」で、手作りのボーリング・魚釣り・輪投げなどで遊んだり、指遊びをしたりして楽しいひと時を過ごしました。遊んだあとは、玉島更生保護女性会と保護司の方たちが作ってくださった美味しい手打ちうどんを食べて、お腹も心もいっぱいになりました。

地域の方たちに支えられ、園児と地域の皆様との絆を深めるための大切な行事だと実感しました。



# 9/18 あすなろ園ふれあい交流会



敬老の日に、あすなろ園で「あすなろ園敬老の日ふれあい交流会」が開催されました。中塚理事長のあいさつの後、来賓が祝辞を述べられました。その後、入所者の長寿の方々に記念品が贈呈されました。記念品を受け取られた方々の嬉しさで輝いた表情が印象的でした。その後、アトラクションとして「伊つき座」によるステージショーが披露され、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

入所者の方々、交流会に参加された方々、あすなろ園のスタッフの方々の優しさに、癒された時を過ごすことができました。

## PTA 人権教育講演会 開催

9/26 玉島幼稚園

「幼児の心の発達と親としての向き合い方」  
講師：村中 由紀子 先生

10/28 柏島小学校

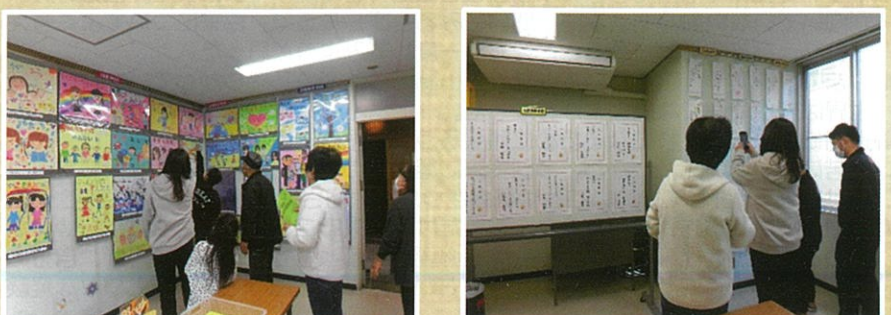
「音楽が広げる人の輪」  
講師：住宅 正人 先生

11/20 玉島西中学校

「西日本豪雨災害から5年  
大切な人を災害から守るために」  
講師：榎原 聡美 先生

# 人権ポスター・標語展

11月25日(土)～12月10日(日)



玉島西公民館まつりと人権週間に合わせて、人権作品を展示しました。

誰もが真剣に考えなければいけない人権をテーマとして、玉島西中学校区の小中学生が、熱い想いをポスターと標語で伝えていました。

第48号

# なかよし

発行者 倉敷市玉島西中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局 倉敷市玉島西公民館  
住所 倉敷市玉島柏島 7038-6  
TEL/FAX (086) 528-2713

9/27

玉島地区4中学校区合同研修視察

## 福山ホロコースト記念館

ナチス・ドイツの政権下のヨーロッパで、ユダヤ人であるという理由だけで600万人の命が奪われました。その中には、150万人の子どもたちがいました。彼らは、全ての人間の権利を奪われて、ガス室で無残に殺されてしまいました。

記念館では、当時の子どもたちの姿を通して「ホロコースト」について学びました。

「平和な世界を後世に残すために、私たちに何ができるか考えよう」という目的をもって、ホロコースト記念館を訪れました。館長さんからの講話・DVD鑑賞・施設見学という流れの中で、今から約半世紀前、福山市の牧師であった大塚伸さんは合唱団と共にイスラエルを訪問中、アンネ・フランクの父オットー・フランクさんとの偶然、いえ奇跡的な出会いがあったことをきっかけに交流が始まり、福山の地に記念館設立となったこと、「ホロコースト」とはギリシャ語で「全てを焼き尽くす」という意味であること、ユダヤ人として生まれたというだけで600万人の命が奪われ、その中に150万人の子どもたちがいたということ、「シャワーを浴びさせてあげる」と丸裸にされ浴室に入ると湯ではなく、毒ガスがふりそそぎ十数分で絶命したことなどを学びました。何とむごい事でしょう。人権侵害も甚だしいことです。心が押しつぶされそうでした。

展示の中には、アンネ・フランクが家族や知人とひっそりと息を殺すようにして生活していた隠れ家も本物そっくり<sup>まね</sup>に造られていて、ここで丁寧な字で毎日、日記をつけていたのです。いつ見つかるのかと怯えながら…



他にも収容所に残された子どもの靴、収容所のジオラマ、ゲッソーの壁など。また、日本外交官であった杉原千畝さんは、罰せられるとわかっていながらも手書きでたくさん<sup>たくさん</sup>のビザを発行し、約6000人のユダヤ人を救ったことも書かれていました。

記念館の階段を昇った上の白い壁には「忘れないで」と書かれていました。その言葉の意味は何でしょう。「ホロコーストで犠牲になった子どもたちを忘れないで」という願いが込められていると思います。記念館で学び、肌で感じた事、心に残った事を考え続けることかもしれません。

記念館の周りには、蕾は赤、咲くとオレンジ・黄色に変化する「アンネ・フランクの形見」と名付けられたバラが咲いていて、アンネが偲ばれました。

この研修でアンネの平和を願う心が語りかけている気がしました。「平和のために何かをする人になってください」「傍観者にならないで」と。差別や妬みの感情を捨て、笑顔で生活できるように自分自身を少しずつでも変えていく努力をしていきたいと痛感しました。それが平和につながることを信じて!!

玉島西中学校区人権学習推進委員会  
副会長 小山 節子





# 玉島西中学校区人権学習推進委員会としてのSDGsの取り組み

玉島地区の中・高校生と地域の方々「玉島の活性化」「地域を担う人材の育成」を目標として活動しています。



## 5/27 郷土の干拓の歴史

「干拓・埋立を中心とした郷土の歴史～新しい地図表現を利用して～」と題して、倉敷とことこライターの眞鍋忠義氏による講演会を行いました。

1585年の干拓の始まりから、約400年にわたる岡山県南部、特に玉島地域(高梁川西部)の平野の成り立ちについての話でした。ここ玉島は、広い地域が干拓により、広がった



歴史があります。その歴史を、「航空レーザー測量データ」を用いて作った地図で説明された講師のお話思わず引き込まれました。



### 《高校生の感想》

- 昔は海だった自分の住む場所に、干拓・埋立を通していろいろな歴史があることが分かり、改めて興味・関心を持つことができました。
- 玉島で育ったので、もっと玉島のことを知りたいと思った。昔の資料・地図を、現在のものと比べてみるとたくさんの事が分かっておもしろかった。
- 干拓や埋立について昔の地図や図面を見て昔の地形や水位が知ることができた。地名の由来や埋め立てた土の事など、いろいろ知ることができてよかった。

## 7/22 8/2 小学生の学習相談

2日間にわたり、玉島地区の高校生が、玉島西中学校区の玉島小学校、柏島小学校、玉島南小学校の3校の希望する小学5・6年生を対象として、1学期の学習内容で分からなかったことや夏休みの宿題で行き詰まっているところを教えてくださいました。学習に入る前に、「マイブームについて話す時間」などを取り入れて、リラックスした雰囲気の中で、学習相談が始まりました。高校生と小学生が仲良くなることも大きなねらいの一つです。



### 《小学生の感想》

- 年が大人より近いから分かりやすく説明してくれて、勉強がはかどった気がした。高校生の生活が知れたり、話が噛み合ったりしてよかったです。

### 《高校生の感想》

- 小学生の内容だから簡単に教えられと思っていただけ、分かりやすく伝わるように意識すると難しかった。人に教えるとき、自分で理屈を考えるから、問題に対してより理解が深まった。最後に「分かりやすかった」と言ってもらえて嬉しかった。自分が引っ張らないといけないという意識で積極的に参加できた。

## 9/30 玉島の歴史

「近世初期における干拓・埋立を中心とした郷土の歴史」と題して、『たましま会』会長の武田芳紀氏に講演をしていただきました。5/27の講演に関連した内容でした。

水谷勝隆公の備中松山藩へのお国替えを起点として、玉島はその外港の開発が加速されました。高梁川沿岸、さらに従来からの海岸線を南下させていく経過を、干拓の進展で見えていきました。さらに、それを日本全体の干拓・農地の拡大に位置づけるというとても興味深い内容の講演でした。



### 《参加者の感想》

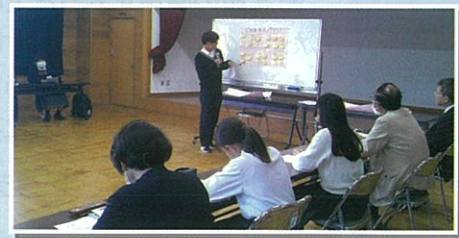
- 玉島の気候風土に合わせた土地作りや産業作りに力を注いだ先人の思い・努力に頭が下がります。私たちも地球の危機に何をすればよいか、各々が考えないといけない「時」が来たといひひしと感じます。

### 《高校生の感想》

- 玉島は干拓地が多いということは聞いたことがあったが、いつ頃、誰が、ということまでわかって嬉しかった。グループワークの中で、干拓地は液状化しやすいという話が出て、今回身につけた知識は私の興味のある防災の分野にも活かせると思った。

## 10/28 公民館利用者と語る「地域課題」

地域には「住民の防災意識を高めるにはどうしたらよいか」とか「高齢化に伴い、地域の役を担う人材を育成するためにはどうするか」など、様々な課題があります。その課題を中高生と地域の方々、SDGsの観点に立ってあぶり出し、その解決方法を話し合いました。人がもっと玉島に集まるためには、駐車場の確保が必要などの、すぐ実現することの難しい課題も出てきました。また、防災に関しては、地域の方々の協力し合える人間関係の構築が大切であるという意見が出ました。



### 《参加者の感想》

- 地域の歴史や魅力など、まだまだ知らないことばかりでした。学生の意見、地域の方々の豊富な経験・知識にふれることができ、多くの学びがありました。

### 《高校生の感想》

- 自分が昔から住んで過ごしている玉島にも、課題が多くあることを実感した。例えば災害時に見るハザードマップの認知度があまりないことや、みなと朝市に学生があまり来ていないことに気付いた。その課題の解決策として、ハザード模型を作ったり、たまテレやSNSで発信をするという案を聞いて、その考えもあったか!と思うこともあり、とても有意義な時間となった。

## 12/9 高校生講師によるスマホ講座

玉島高校と玉島商業の生徒が、公民館を利用して活動されているサロンの方を対象に、スマホのいろいろな使い方について教えるという企画を行いました。公民館の利用者の方が17名、高校生が17名でマンツーマンでのセミナーとなりました。地域の方と高校生が仲良くなるということも、大きなねらいとしていますので、スマホのことだけでなく、いろいろな話をしながら進めていくことができました。



### 《公民館利用者の感想》

- 分からないことをメモ書きにして、すべてクリアできました。新しいことも、いろいろ聞いてとても良かったです。優しく親切に教えていただいて、孫と話しているようでした。気分も若返り、楽しい時間をありがとうございました。

### 《高校生の感想》

- 普段は人に教えてもらう立場だけど、今日、人に教えてみて、教えることは難しいけど、楽しいことだということ学びました。
- わかりやすく教えることが難しかったけど、「ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらい役に立つことができたことと実感し、嬉しかったです。
- 今回参加したことで地域のつながりを感じ、優しさを感じました。

## 1/27 地域の方とともに将来の仕事を考える

高校生にとって将来どんな仕事に就くかということは、大きな関心事です。地域の様々な仕事を経験された方々(幼稚園・中学校・高齢者福祉・一般企業・自営業・消防士等)から仕事のやりがいや喜び、厳しさなど、率直な声をブースに分かれて聞く機会は貴重な体験でした。



### 《高校生の感想》

- 私が想像していた事と違う話が聞けてよかった。職業を一つに絞るのではなく、たくさん挑戦し続ける事が、人生を楽しく過ごす方法の一つだと知ることができて良かった。
- ネットで調べても出てこないようなこともたくさん聞いてよかった。自分の興味が向いていない職業も、実際に聞いてみると楽しそうで、将来についてよく考えられた。今までを振り返ることをもう一度してみようと思った。
- 今まで、職業や仕事についてかなり追い詰められている感じがしていたが、結構世界は自由で固くないことがわかった。
- 進路について「これになるために頑張ろう」と思うことや勉強することが、とても苦になっていた。しかし、今回実際に経験者の話を聞くことで、選択肢を一つだけでなく、併せてもいいことや機会をつかむ大切さを学べて有意義だった。
- 自分の好きな事を仕事にするか、苦手だけど出来ることを仕事にするか、やりがいのあることを仕事にするか、考える必要があると思った。講師の方が、自分の仕事を楽しく話しているのがとてもかっこいいと思った。自分も様々な経験を積んで語れるようになりたい。